

問191

歴史ある街道の宿場町を歩き、当時の【 繁営 】を偲ぶ。

(ア) 繁生

(イ) 繁営

(ウ) 繁栄

問192

清らかな溪流のほとりで、岩肌を流れる【 清流 】の音に癒やされる。

(ア) 生流

(イ) 清流

(ウ) 青流

問193

山頂の茶屋で名物の草餅をいただき、旅の【 疲れを愉やす 】。

(ア) 疲れを生やす

(イ) 疲れを癒やす

(ウ) 疲れを愉やす

問194

港町の朝市を訪れ、威勢のいい掛け声とともに【 括気 】があふれる。

(ア) 括気

(イ) 活気

(ウ) 生氣

問195

旅先で地元の人々と温かい言葉を交わし、旅の【 酩湖味 】を味わう。

(ア) 酩湖味

(イ) 酩醐味

(ウ) 酩生味

問196

深い森の中に佇む神社に参拝し、厳かな【 清寂 】の中で手を合わせる。

(ア) 静寂

(イ) 生寂

(ウ) 清寂

問197

駅弁を膝の上に広げ、車窓からの景色を眺めながら【 舌板を打つ 】。

(ア) 舌板を打つ

(イ) 舌鼓を打つ

(ウ) 舌生を打つ

問198

旅の途中で立ち寄った道の駅で、地元の【 特散品 】を品定めする。

(ア) 特散品

(イ) 特生品

(ウ) 特産品

問199

高原の爽やかな風に吹かれながら、広大な【 收場 】でのんびり過ごす。

(ア) 生場

(イ) 收場

(ウ) 牧場

問200

歴史ある城郭の天守閣に登り、城下町の【 全影 】を見下ろす。

(ア) 全影

(イ) 全生

(ウ) 全景